

# 「第29回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

The 29th Exhibition of the Taro Okamoto Award for Contemporary Art

## 第 29 回岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞) 受賞者が決定しました。

今回の授賞式では岡本太郎賞(1 点)、岡本敏子賞(1 点)、特別賞(6 点)が選ばれました。

### 岡本太郎賞(賞金 200 万円)

たかた てつお  
高田 哲男《FUKUSHIMA5000》



作品サイズ 500×500×500cm

素材 画用紙にインクボールペン、土のう袋、フレコンバッグ、ポストカード袋、塩ビパイプ、プラダン、ジョイント

### ○作家の言葉

2018 年、福島第一原発に隣接する福島県富岡町を訪れた時、山積みの黒いフレコンバッグが、見渡す限り埋めつくす光景を目にし、衝撃を受けたことが作品制作の発端です。

東日本大震災から 15 年(5440 日)経ちました。その日数と同じ枚数のイラストを描いています。

我々が目にするニュースや広報、さらに現地に赴いて見て得た情報を元に、住民や廃炉作業員の活動など、事故と廃炉と復興を様々な角度で捉えて描きました。

福島事故と復興を、被災者だけではなく、我々皆が共有すべき記録と記憶にしようとする試みです。

## PRESS RELEASE



## ○略歴

1972 兵庫県生まれ  
 1994 流通科学大学商学部流通学科 卒業  
 1998 神戸デザイナー学院夜間部 卒業  
 [受賞]  
 2017 兵庫県展 デザイン部門大賞  
 2023 第26回岡本太郎現代芸術賞 入選  
 2024 第68回新槐樹社展 新人賞  
 三木市文化芸術奨励賞

## ○審査評

東日本大震災から15年となる2026年。わたしたちの国土はなお、毎日のように地震で揺れ、津波に警戒し、そのたびに原子力発電所の安否に聞き耳を立てている。作者は、過ぎていった日々の積み重ねを、放射能で被災した地域の地方紙や報道などをもとに、誰にでも入手できる簡素な素材とインクボールペンで描いた延べ5440枚(大震災から5440日)の素描をもとに、巨大なモノクロームの集積に仕上げた。原発事故という甚大な出来事と、日々の記録とのギャップが、この塊の中で一体のものとなり、わたしたちの「現在」の前にうずたかく積み重なっている。

(権木野衣)

## 岡本敏子賞(賞金100万円)

ばば けいいち  
 馬場 敬一《死と再生のイニシエーション》



作品サイズ 500×500×500cm  
 素材 ダンボール、樹脂、木炭、アクリル絵具

## ○作家の言葉

鬱で得た死生観を、自我・髑髏・女神による三位一体で綴る、私が主人公の独自の神話的世界。死への欲求に囚われた制作当初のモチーフは私と髑髏だけ。苦しみから逃れたいと祈るようにナラティブを描き進めるうちに、寄り添い続けてくれたパートナーが傷だらけの女神として現れた。傷は輝きを纏い、負は正に転じた。

描き、破壊し、再構築し、固める。誕生、死、再生、永遠、を象徴する工程が「死と再生」の擬似体験となり、死に呑み込まれかけた私を救済した。

# PRESS RELEASE



## ○略歴

1974 東京生まれ

### [受賞]

2018 「第 14 回世界絵画大賞展」東京都知事賞

2019 「小松ビエンナーレ 2019 第 5 回宮本三郎記念デッサン大賞展」佳作

「第 15 回世界絵画大賞展」協賛社賞・パイロットコーポレーション賞

### [近年の個展]

2023 「GOLDEN DAYS」(gallery Q/東京)

2024 「死と再生のイニシエーション」(YUGEN Gallery/東京)

2025 「死と再生のイニシエーション福岡巡回展」(YUGEN Gallery/福岡)

## ○審査評

最も強烈なインパクトを与えた作品である。「鬱で得た死生観」をもとにネガティブなエネルギーから出発し、「描き、破壊し、再構築し、固める」という工程を経て、「誕生、死、再生、永遠」を象徴する作品へと昇華させた。そんな制作過程を記録した映像によって、鑑賞者も追体験することができる。段ボールにモノクロームで描かれた自画像、髑髏、女神は樹脂で固められることによって妖しい光を纏う。ネガティブなエネルギーを見事にポジティブに変換した、モニユメンタルな大作である。(山下裕二)

## 特別賞 (50 音順) (賞金 各 10 万円)



うさみ まさひろ  
宇佐美 雅浩

《Manda-la in Hiroshima 80 years after the atomic bombing》



まくらい りゅうへい  
櫻井 隆平

《Rotating objects No.3: too close to be real》

# PRESS RELEASE



川崎市岡本太郎美術館  
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

すずき とうせい  
鈴木 藤成《僕と鬼の云々》



Soma Tsuchida《自己完結型創造症候群》

みずかみ しゅうと《4羽のメジロのための棺桶》



よしむら たいせい  
吉村 大星《丁寧な対話》

## お問い合わせ

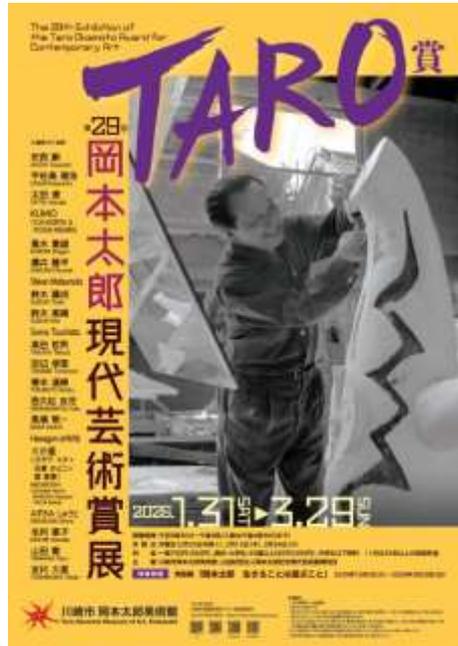
川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：喜多、千村、細川 広報担当：山内 ([pr@taromuseum.jp](mailto:pr@taromuseum.jp))  
〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内  
TEL : 044-900-9898 /FAX : 044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>



## 展覧会プレスリリース

**「第29回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展**

The 29th Exhibition of the Taro Okamoto Award for Contemporary Art



第29回岡本太郎現代芸術賞展ポスタービジュアル

**時代を創造する者は誰か！**

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で29回目を迎える本賞では、644点の応募があり、創造性あふれる21組の作家が入選をはたしました。21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧ください。

**開催概要**

会期	2026年1月31日(土)～3月29日(日)
会場	川崎市岡本太郎美術館 企画展示室
主催	川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日	月曜日(2月23日を除く)、2月12日(木)、2月24日(火)
観覧料	一般700(560)円、高・大学生・65歳以上500(400)円 中学生以下は無料 ※( )内は20名以上の団体料金

同時開催：常設展「岡本太郎 生きることは遊ぶこと」 会期：～2026年3月29日(日)

**●写真撮影・SNS等への画像掲載について**

本展覧会は、会場内をご自由に撮影することができます。SNS等への発信も可能です。

(※動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可)

会場や作品の様子がSNS等を通じてシェアされ、来館者と作家とのコミュニケーションのきっかけになればと考えています。

## 入選者(50音順)

安西 剛 ANZAI Tsuyoshi  
 宇佐美 雅浩 USAMI Masahiro  
 太田 遼 OHTA Haruka  
 KUMO (YUKI MORITA & RYUDAI MISAWA)  
 黒木 重雄 KUROKI Shigeo  
 櫻井 隆平 SAKURAI Ryuhei  
 Shinon Matsumoto  
 鈴木 藤成 SUZUKI Tosei

鈴木 美緒 SUZUKI Mio  
 Soma Tsuchida  
 高田 哲男 TAKATA Tetsuo  
 田辺 朋宣 TANABE Tomonori  
 徳本 道修 TOKUMOTO Dohshu  
 西久松 友花 NISHIHISAMATSU Yuka  
 馬場 敬一 BABA Keiichi  
 Hexagon artist®

ミカ星 (オガワミチ+石倉かよこ+館星華)  
 MIKABOSHI  
 (OGAWA Michi/ISHIKURA Kayoko/TACHI Seika)  
 みずかみ しゅうと MIZUKAMI Shuto  
 毛利 華子 MOHRI Hanako  
 山田 徹 YAMADA Toru  
 吉村 大星 YOSHIMURA Taisei

## 出品作品

入選者による 平面、立体、映像、インスタレーション作品、他 21点

## 審査員(50音順)

樫木 野衣：美術批評家／多摩美術大学教授  
 土方 明司：川崎市岡本太郎美術館館長  
 平野 暁臣：空間メディアプロデューサー／岡本太郎記念館館長  
 山下 裕二：美術史家／明治学院大学教授  
 和多利浩一：ワタリウム美術館キュレーター  
 ・ゲスト審査員 福田美蘭：現代美術家

## 関連イベント

### 1) お気に入りを選ぼう！

第29回 TARO 賞入選作品の中から、ご来館の皆さまにお気に入り作品を投票していただきます。投票結果は、HP等で発表するとともに、上位の作家には記念品を進呈します。

日 時：2026年1月31日(土)～3月8日(日)  
 場 所：ギャラリースペース ※作品鑑賞は要観覧料  
 結果発表：2026年3月14日(土)(予定)



### 2) お手紙プロジェクト

作品の感想などを共有する「お手紙プロジェクト」。ご来館の皆さまに、入選作家や作品へのメッセージを書いていただく企画です。

日 時：2026年1月31日(土)～3月29日(日)  
 場 所：ギャラリースペース



### 3) 出品作家によるリレートーク

出品作家によるリレートークを行います。

日 時：1月31日(土)、2月15日(日)、2月28日(土)、3月8日(日)、3月29日(日)  
 各回 14:00～1時間程度

参加作家(予定・五十音順)：

1月31日(土)…黒木 重雄、櫻井 隆平、鈴木 藤成、吉村 大星  
 2月15日(日)…安西 剛、太田 遼、みずかみ しゅうと、ミカ星  
 2月28日(土)…宇佐美 雅浩、KUMO、馬場 敬一、毛利 華子  
 3月8日(日)…Shinon Matsumoto、鈴木 美緒、高田 哲男、山田 徹  
 3月29日(日)…Soma Tsuchida、田辺 朋宣、徳本 道修、西久松 友花、Hexagon artist®

場 所：企画展示室 ※要観覧料

その他、関連イベントの詳細につきましては、当館ホームページでお知らせいたします。  
 川崎市岡本太郎美術館ホームページ <https://www.taromuseum.jp>